

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【公開番号】特開2008-272158(P2008-272158A)

【公開日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【年通号数】公開・登録公報2008-045

【出願番号】特願2007-118273(P2007-118273)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 3

A 6 3 F 7/02 3 1 5 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成22年4月21日(2010.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が飛翔する遊技球飛翔領域を備えた遊技機本体と、

遊技が実行される領域に設けられるとともに第1識別情報を変化表示する第1識別情報表示手段と、

遊技が実行される領域に設けられるとともに第2識別情報を変化表示する第2識別情報表示手段と、

前記遊技球飛翔領域に設けられた第1作動口を遊技球が通過した場合、情報を取得する第1情報取得手段と、

前記遊技球飛翔領域に設けられた第2作動口を遊技球が通過した場合、情報を取得する第2情報取得手段と、

前記各情報取得手段の取得した情報を用いて当たり外れの判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて前記第1識別情報又は前記第2識別情報の変化表示を行うとともに、前記第1情報取得手段の取得した情報を用いた判定結果が当たりの場合には第1特定識別情報を前記第1識別情報表示手段に最終停止表示するように、前記第2情報取得手段の取得した情報を用いた判定結果が当たりの場合には第2特定識別情報を前記第2識別情報表示手段に最終停止表示するように、対応する識別情報表示手段を表示制御する識別情報制御手段と、

前記判定手段の判定結果が当たりであって前記第1特定識別情報又は前記第2特定識別情報を最終停止表示した場合、遊技状態を通常遊技状態より遊技者に有利な特別遊技状態に移行させる特別遊技状態移行手段と  
を備えた遊技機において、

少なくとも所定の遊技状態において、前記第2作動口を遊技球が通過することを、前記第1作動口を遊技球が通過することより困難なものとする障害部材と、

前記第1情報取得手段の取得した情報を規定数を上限として保留記憶する第1保留記憶手段と、

前記第2情報取得手段の取得した情報を保留記憶する第2保留記憶手段と  
を設け、

前記識別情報制御手段を、一方の識別情報の変化表示を行っている場合には他方の識別情報の変化表示を行わない構成とともに、前記各保留記憶手段に保留記憶されている情報のうち最初に保留記憶された情報に基づいて対応する識別情報の変化表示を行う構成とし、

さらに、

前記第1保留記憶手段と前記第2保留記憶手段の少なくとも一方が前記情報を保留記憶している場合、これら保留記憶手段の保留記憶数の総和を示唆すべく保留記憶状況を表示する保留状況表示手段を設け、

前記保留状況表示手段は、前記第1保留記憶手段が前記情報を保留記憶していない場合であっても前記第1保留記憶手段の保留記憶可能な最大保留記憶数が前記規定数であることを示唆する最大保留記憶数示唆手段と、前記各保留記憶手段が共に前記情報を保留記憶している場合、これら保留記憶手段の保留記憶した順序を示唆すべく前記保留記憶状況を表示する順序示唆手段とを備えることを特徴とする遊技機。

#### 【請求項2】

前記保留状況表示手段は、前記第1保留記憶手段が前記情報を保留記憶した場合に第1保留情報を表示し、最大で前記規定数の第1保留情報を表示できる大きさを有する第1表示領域と、前記第2保留記憶手段が前記情報を保留記憶した場合に第2保留情報を表示する第2表示領域とを別個に備え、前記第1表示領域の外縁部に少なくとも前記第2表示領域と区画されていることを示す区画情報を表示することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

#### 【請求項3】

前記保留状況表示手段は、前記第1保留記憶手段が前記情報を保留記憶した場合に第1保留情報を表示する第1表示領域と、前記第2保留記憶手段が前記情報を保留記憶した場合に第2保留情報を表示する第2表示領域とを別個に備え、前記第1表示領域を前記規定数有するとともに、前記各第1表示領域の外縁部に当該第1表示領域を示唆する領域情報をそれぞれ表示することを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

#### 【請求項4】

前記第1保留情報を所定方向に並べて表示できるように前記第1表示領域を形成するとともに、前記第2保留情報を前記第1保留情報の表示される各位置から前記所定方向と交差する方向に並べて表示できるように前記第2表示領域を形成したことを特徴とする請求項2又は請求項3に記載の遊技機。

#### 【請求項5】

前記保留記憶状況を表示させるべく前記保留状況表示手段を表示制御する表示制御手段を備え、

前記表示制御手段は、

前記第1保留記憶手段の保留記憶数が増加した場合に前記第1保留情報が所定の第1向きに増加するよう、前記第1保留記憶手段の保留記憶数と前記第1保留情報の表示位置との対応関係を記憶する対応関係記憶手段と、

前記第1保留記憶手段が前記情報を保留記憶した場合、前記第1保留記憶手段の保留記憶数と対応する表示位置に前記第1保留情報を表示させるべく前記保留状況表示手段を表示制御する第1表示制御手段と、

前記第2保留記憶手段が前記情報を保留記憶した場合、前記第1保留記憶手段の保留記憶数を把握する保留記憶数把握手段と、

前記保留記憶数把握手段が前記第1保留記憶手段の保留記憶数を把握した場合、当該把握結果と対応する前記第1保留情報の表示位置から前記第1向きと交差する第2向きに前記第2保留情報を表示させるべく前記保留状況表示手段を表示制御する第2表示制御手段と

を備えることを特徴とする請求項4に記載の遊技機。

#### 【請求項6】

前記表示制御手段は、前記第1保留記憶手段の保留記憶数が減少した場合、前記第1保

留情報が前記第1向きと逆向きに減少するように、且つ、前記第2保留情報が減少するこ  
となく前記第1向きと逆向きに移動するように前記各保留情報を表示させるべく前記保留  
状況表示手段を表示制御する第3表示制御手段を備えることを特徴とする請求項5に記載  
の遊技機。

**【請求項7】**

前記保留状況表示手段は、一方の識別情報の変化表示が行われている場合に第3表示情  
報を表示する第3表示領域を、前記第1表示領域及び前記第2表示領域と別個に備え、前  
記第2表示制御手段は、前記保留記憶数把握手段が前記第1保留記憶手段の保留記憶数を  
0と把握した場合、前記第3表示情報の表示位置から前記第1向きと交差する第3向きに  
前記第2保留情報を表示させるべく前記保留状況表示手段を表示制御することを特徴とす  
る請求項5又は請求項6に記載の遊技機。

**【請求項8】**

前記第3表示領域を、前記第1表示領域のうち前記第1保留情報が最初に表示される側  
に、前記第1表示領域と前記所定方向に並ぶように設けたことを特徴とする請求項7に記  
載の遊技機。

**【請求項9】**

前記表示制御手段は、前記第2保留記憶手段の保留記憶数が減少した場合、前記第3表  
示情報の表示位置から前記第3向きに表示されている第2保留情報が前記第3向きと逆向  
きに減少するように、且つ、前記第1保留情報及び当該第1保留情報の表示位置から前記  
第3向きに表示されている第2保留情報の表示位置が維持されるように前記各保留情報を  
表示させるべく前記保留状況表示手段を表示制御する第4表示制御手段を備えることを特  
徴とする請求項7又は請求項8に記載の遊技機。